

平成 24 年度第 3 回庄原市斎場再編整備検討委員会 議事録

日 時 平成 24 年 10 月 30 日(火)13:30～15:20

場 所 庄原市ふれあいセンター 2 階 中会議室

出席委員 野原建一委員 住田鉄也委員 榎 英子委員 貝崎若子委員 藤谷善久委員 堂本時和委員
安川 保委員 徳山副夫委員 後藤信房委員 渡邊耕三委員 佐々木 聖委員 藤原一成委員
武田和仁委員

事 務 局 矢吹有司副市長

光永幹夫課長 中村征巳係長 福本敬夫主任主事 吉岡賢治主事 (市民生活課)

1 開会

事 務 局 委員の皆さん、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

ただいまの出席委員は 13 名、全員です。庄原市斎場再編整備検討委員会設置要綱第 6 条第 5 項の会議開催要件を満たしていますので、これより第 3 回の検討委員会を開催したいと思います。

なお、この会議は公開となっています。議事内容についても、公表が原則となっていますので、会議の内容については、録音し議事録を作成しますので、ご承知いただくとともに、発言いただく際にはマイクを使用いただくようご協力をお願いします。

開会にあたり、野原委員長からあいさつをいただきます。

2 委員長あいさつ

野原委員長 みなさん、こんにちは。

今日は、第 3 回ということで、庄原市斎場再編整備検討委員会を開催します。前回、庄原、西城、東城の斎場を見学しました。今日の会議で、そういった見られた事例について、参考にしてさらによいものに、新しい斎場ができればと考えています。

また、新しい斎場が隣りの三次市で出来ているとお聞きしています。そういった所も参考になるのではないかと考えていますので、そういった所も含めて議論いただければと思います。短い時間ではありますが、よろしくをお願いします。

3 資料確認 (不備等がないことを確認する。)

4 市職員(事務局)の紹介

事 務 局 続いて、本日、出席しています、市の職員について紹介します。

副市長の矢吹です

市民生活課生活安全係長の中村です。

市民生活課生活安全係の吉岡です。

市民生活課生活安全係の福本です。

市民生活課長の光永です。

よろしくお願ひいたします。

5 協議事項

事務局 これから先の進行については、要綱により委員長が議長を努めていただくこととなっておりますので、委員長の方でよろしくをお願いします。

野原委員長 記録を作るということですので、これからマイクを使用し、進めさせていただきます。まず今日は、お手元にあります会議次第によりまして、3の協議事項から進めていきたいと思えます。

まず最初に、この前見学しました現斎場の視察を受けてという(1)ですが、これについて事務局でとりまとめておりますので、よろしくをお願いします。

(1) 現斎場の視察を受けて

説明

事務局 先般の視察ですが、ちょうど雨という中で足下の悪い中でしたが、視察いただきありがとうございます。それぞれ感想をお持ちだと思います。これから再編計画に向けて参考にさせていただきたい部分です。ご意見をいただくこととしてよろしいですか？

質疑

野原委員長 折角、見学に参加していただきまして、出来れば見学に行かれた方々、ご意見など、また現状をご承知の方は、そういったことでの意見でもいただければと思えます。

前回、見学に行かれた方、私の席の近くからスタートしたいと思えます。よろしくをお願いします。

委員 ちょっとまとまりがつかないのですが、庄原の斎場はどうにもならんという印象を持ちました。その他、西城については、比較的整備してきたという自負はあるのですが、年数等の問題がありますので、今後のあり方については、皆さんの意見を賜りながら、私の意見を言いたい。東城は文句なしに完全に整備されていまして、非常に使いやすい斎場ではないかと思っています。

委員 先般、3施設を視察して、いろんなことを感じたのですが、東城の平安の森を利用させていただいている関係で、東城の人間にとっては、あの施設が普通かなという感覚でおったのですが、同じ庄原市の中でもいろんな施設があるんだということを改めて感じたところです。市内平準化というのは大切なことじゃないかなとつくづく感じながら3施設を見て回りました。

委員 いろいろ見させていただいたのですが、建設をするという建前で見させてもらったのですが、どうも斎場という見通しの悪い暗いところへ持って行ってあるので、もう少し明るい所、賑やかなところとまでは言いませんが、何か交通の便利の非常に良い明るい極端に言えば庄原市にある平安閣、そこに斎場をくっつけたというような状況のような中で明るい雰囲気のある所へ建ててあって交通の便利が良い所にあつたら良いなと思えました。そういう印象を持ちました。

委員 各地域によって内容が違う、建てられた年数も違うということで、今後庄原市に建てられるということでしたら、交通便利の良い所とある程度広大な土地でないとモータリゼーションですので、車で来られる、そうすると駐車場の管理などもしっかりと考えていかなくてはいけないのではないかと思えました。どうせ作るのなら、良いものを作らなければならないという思いをしています。今後、三次市の斎場を見させてもらったりして、庄原市の一番良いものを作っていないかという思いをしています。

- 委員 思いはみなさん、ほとんど言われましたので、改めてはありませんが、旧庄原の斎場があまりにも古いのでびっくりしたのと将来的に東城は別として比和、西城、口和ですか、比和以外の斎場がどうなのかわかりませんが、出来れば高野が東城のような設備が出来た方が良いのかなあという気がしましたが、場所等については、後ほど資料3でしたか、そこから検討されると思います。
- 委員 この間、参加できなかったのですが、たまたまつい最近、三次で葬式がありまして、火葬場に行きました。かなり良い設備だったんですが、道案内がかなり悪くてどこにあるかわからなくて迷ったんですが、バスで行かれる方、親戚の方は行かれます。よそから来た者がわかりにくくて、私も初めて行ったのですが、扉もなくて何があるのか全くわからないような火葬場でした。2箇所親戚の方が待っておられる所があって、葬儀場も作りますとかなり民業を圧迫するなど平安祭典であるとか、いろいろ三次にも庄原にもありますが、そういう所を圧迫するなという感じがありました。良い葬式は出来るのでしょうか、その辺も民間の業者と考えられて作る方が良いかなと、七塚の火葬場も知っていますから、あれは問題外で新しいのを作らないといけないとは思っています。
- 委員 皆さん言われたとおり、初めて東城、西城に行かせていただいたのですが、東城の方はこれが火葬場なんだろうかという程、きれいでびっくりしました。先ほども言われたとおり、火葬場は庄原は立て替えが必要と思うのですが、式場の方が民業圧迫というのも私も会社をしていますので、そういった面をしっかりと検討していかないといけないのではないかと思いました。
- 委員 庄原については、耐用年数が平成27年ということで、あと3年ということになっておりますので、当然古いということは理解して行きました。西城の方が平成38年ということで、あと14年、東城が48年ということであと24年ということで、東城については、十分、活用できると、西城については、一点感じたことは、よく作られたと、地元の方に敬意を表すると。あの地形で、前面が15メートル以上の崖面、裏面が10メートル位の崖面ということで、こういったものを見たときに将来、敷地の拡張とかそういう面で見ますと西城はあれで限界だろうと。庄原が今のところで見ますと8,000㎡あるということになっていますが、これは拡張の余地があると。東城については、約10,000㎡という中で拡張の余地があるという見方をしました。そうした中で、東城については、皆さんのご意見がありますように、全施設が整っていますし、敷地も拡張の余地があるし、そうした見方をしてみました。取り付け道路は、どこも広い県道、そういった所から引き込み道路として約500M近く引張られた所へ位置されております。先ほどご意見が出ましたように、これからいろんなことを考えていくときに、利便性の良い所、景観の良い所、いろんなことの課題がありますが、当時はそういったことを配慮して作られたのではなかろうかと思えます。炉について検討があったわけですが、東城は予備炉が1基あったので、これは将来対応としては、検討する中では十分ではなかろうかと思えます。その他、環境整備については、庄原は自然林の中ですが、整備はなされていないと、西城も現状の中では、周辺の状況から環境整備としまして、今の所くらいだろうと、東城は周辺の山、その他に対してすれば出来るという見方をしました。
- 委員 普段、親戚などの火葬は、庄原の火葬場に行っておりましたので、このぐらいかなといつも思っていたのですが、庄原の斎場は、早急に建て直さなくてはいけないなと思いました。東城は、本当に施設も整っていて、中でいろいろ出来るということを知って、立派な

ので驚きました。西城は、まあまあで、それでも庄原のことを思うと立派だと思いました。

委員 地域の格差が、事情というのがあるんだなと思いました。どんな地域にどんなものがあるのかわかりませんので、初めて今回視察をさせていただいてわかって、地域の差、事情というのがあるんだなということを知りました。旧庄原市の方は待ち望んでおられるんじゃないかな、早急に何とかしてほしいという思いを持っておられるんじゃないかなと思いました。東城町の西城の方の金額等についてお聞きした所では、各町へ置けるのではないかなという感じがしたのですが、総合的に一つのものってというのが、必要なかわからないのですが、東城町の斎場の方の利用状況で考えたら金額的には、各町に置いてもらっても良いなというのが私の感想です。耐用年数があるとすれば、まだ先なので、旧庄原市の方が待ち望んでおられるんじゃないかなと思いました。後は、先ほど言われたように山の奥へ奥へということになってしまうのですが、もし何箇所かに置くとすれば利便性とか景観性とか考えていけないといけないのかなと思いました。

委員 ある庄原の女性の方から、あそこで私の人生の最期を焼いてもらうんじゃないかなと思うたら、火葬場に行くたびに涙が出ると言われて、亡くなられた方の悲しさと同時に自分も死に際を迎えるかと思うと涙が出ると、あれを何とかしてやという話があったわけです。そうしたら、ちょうど整備検討委員会の委員に推薦をしてもらったので、これはぜひ良いものを作ってあげなくてはいけないなと思いをし参加させていただいています。まず、皆さんがご指摘されていることと感じておることは全く一緒です。新しく作られている所はいろんな研究をされて作っておられますので、施設的にも立派であると感じております。そういう中で各委員さんからも指摘がありましたように非常に昔は迷惑施設というような思いもあって、どちらかというところちょっと隠れた所に作るという傾向があったのではないかと感じるわけですが、いずれにしても今のこの時代にアクセスの問題、長い間に将来ここに集約していく中で考えていくいろいろなことを考えて立地の問題等は検討すべきだと感じておりますし、2点目は先ほど指摘もありましたように民業圧迫というか現時点で斎場を運営されている施設もあるわけですので、ある程度そういうものも考慮しながら、作る必要があるなど、それに基づいて規模的にもどの程度の規模で納めるかということも将来を見越した上で考える必要があるかと感じております。いずれにしても財政とのからみがあると思いますので、そういう中で身の丈にあったものを作らないといけないし、長らく有効に活用できる施設でなければならぬと感じております。

事務局 この委員会は、斎場の再編整備という名称となっていますので、再編をどうするか、現在7箇所あるものをどのように再編していくか、再編するときには当然、葬儀のことからすると式場をどうするかということも併せてのご検討をいただいて、皆さんご意見いただいた庄原斎場については、かなり老朽化していますし、改修もほとんどしていない、トイレも汲み取り式のままとというようなことで、これは喫緊に建て替えていく必要があるのですが、それをどういった形態に式場をどうするかというようなこと、新しい場所とするのか、今の所にするのか、そういったことを現状見ていただいたので、新しい三次市なり安芸高田の計画なり参考にさせていただきながら、論議していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員 それぞれ各委員さんから感想を述べられました。まさに言うことなしのそれぞれの意見であったと、私も同様の思いです。とりわけ、今回、平素は庄原の斎場へも再三、見送りに行くわけです。その時はそこまで思わなかったのですが、先般、皆さん方と視察という

ことで、赴きました所、再三、行っているにも関わらず、これは大変だなという思いをしたわけです。東城、西城を見させてもらって、それぞれご意見がありましたとおりで、とりわけ斎場ということで、用地の確保ということも 50 年前に庄原の斎場を建設するときにも私も事情を承知していますが、大変難しい、東城ももっと広くする、広いようでもまだ用地が必要だろうと思いますし、西城も苦勞された用地だなという思いもしました。人生最期の場ということになりますと環境というものについては、賑やかな所というような思い切った発想の転換もしていかななくてはいけないとも思います。特に、東城は素晴らしいなと思いました。専門的なコンサル等と研究した結果、そういうものが出来たようですが、こうした施設を建設することによって、人口がどんどん減少していくというフレームと合わしたときに、どうしても再編という立場で今の提案されているように、全ての斎場を維持していくことは困難だろうと、どうしても財政フレームから言っても難しいということをおっしゃったわけですし、それなりに今後しっかりと用地を確保して、環境を考えて東城のようなスケールを大きくした施設整備をやれば、3ヶ所や4ヶ所というフレームも出ていますが、利便性等もいろいろ考慮してやった場合に同意をいただけるのではないかとこの意を強くしました。利便性の上で、誰もが近いというのは大切なことではありますが、今後、東城のような一連の施設をきちっと建設していく、そういう施設を作れば、今回、我々の課せられている再編ということに答えることができるのではないかと、委員さんといろいろ議論して、一連の全てのことがこなせる斎場、式典、会席の場という施設を設置して、ただ、用地確保ということが、庄原の施設にしる、県有地ということもあって、いずれにしても用地確保というのは大変なことであることと今回の施設を見ながら、再編ということを考えながら、用地が大変だなと思いました。本当に意を決して検討委員会でそのことを成していかなくてはいけないという意を強くしたわけです。今のままではどうしてもいけないわけです。人口が減っている、これに歯止めをかけなくてはいけないわけですが、特に高齢者の立場では、今のままでは悲しいよということをお聞かせしています。そういう所は、それぞれニーズがあるかと思っておりますので、何とでも3ヶ所、4ヶ所でやって、まとめられるものはまとめて立派な施設を作り、用地も確保してやるということをお聞かせを何とか知恵を出してやらなくてはならないという意を新たにしたいということです。

野原委員長 ありがとうございます。今、皆さん方のご意見を承りまして、5点、共通点があるかと思っております。第1点は旧庄原の斎場の実情が、新設はやむを得ないのではないかとこの共通の意見ではなかろうかと思っております。西城もその中に入るのかもしれませんが、施設の刷新はやむを得ないということで、切実な声も一方であるということです。第2点は民業を圧迫しない施設であってほしいという希望が出ておまして、どのような施設内容にしていくのかという今後の検討、議論の中で出てくることになろうかと思っております。第3点は、景観、それから便益性ということをお聞かせして、出来るだけ山奥の辺鄙な所に立地するということではいかがなものかというようなことで、ご意見がありました。出来るならば景観の良い、近くて便利の良い場所が良いと、中には賑々しいという意見もありましたけれども、それは別として、便利の良い所ということです。第4点は、そうは言っても厳しい地方財政、特に庄原市の財政状況を考えるとそうそういくつも新設というわけにもいかないので、出来るだけ再編という形でとりまとめていかれた方が良いのではないかとこのご意見です。第5点目が、用地をどう確保していくのかということです。現在、ある場所でさらに新しいものを新設するということが出来るかと思っておりますが、新しい所で新

設をしていくということであるとすれば、用地の確保ということが出てくるのではなからうかということですが。

前回の見学で出てきた感想を踏まえまして以上の5点で大体みなさんの意見が集約できるのではないかと考えておりますが、いずれにしても、その他、いくつか所見がありました。そんな所で事務局、いかがでしょうか？(1)はそういうことでとりまとめさせていただきますということによろしいですか？

それでは、(2)庄原市斎場再編計画(案)ですが、事務局から説明がありますが、先ほど申しましたように新しい施設も近隣にありますので、そういったことも含めて事務局から説明をさらに加えていただければと思います。

(2)庄原市斎場再編計画(案)について

説明

事務局 第1回の検討委員会で、庄原に必要な基数はいくらかということで計算式に基づいて計算したところ、5基ということが出ました。異論はあったと思いますが、パターン3まで提案をさせていただきました。それだけでは話が進まないで、近隣の市町の状況も紹介したいと思います。

事務局 資料5をご覧ください。三次市と安芸高田市の状況を調べましたので参考となればと思います。

三次市ですが、平成16年度に斎場整備基本計画を策定されています。庄原市においては、再編計画を考えた後に整備計画を策定する予定ですが、そちらの建設に係る計画と考えていただければと思います。その後、地元協議を重ねる、検討委員会を開催されました。非常に多くの時間をかけて議論されたようで、結果的に平成20年度に候補地が決まったということです。こちらでは移転新設ということで新しい場所、大田幸町となりますが、こちらに新しく斎場を作るという結論に至ったと聞いています。

今年の4月から新しい斎場「悠久の森」が供用開始となっています。新斎場の完成に伴いまして、平成24年3月末で8斎場あったもののうち、老朽化していた6施設閉鎖されています。既存施設のうち、君田と甲奴2施設が残っています。当面、3施設で運営していくこととなっていますが、将来的には君田、甲奴ともに閉鎖するように検討されています。明確な時期は決まっていないので、時期の答えは出ていないということです。

民業圧迫との話もありましたが、三次市では、市内に民間の葬祭業者が13社あると聞いています。その内、式場を持っている併設している事業者は4社、式場のない葬祭業者が9社あるという状況です。こうした状況を考慮して、公営の式場は整備していないということです。新斎場の概要をまとめています。2枚目に三次市の斎場のパンフレットを参考につけています。中央に平面図がありますが、中央部分に炉があり、制御室等があります。それを取り囲む形で、待合室等が整備されているのが、三次斎場の特徴です。炉がある箇所に見送り・集骨室、待合室をユニットとして3つずつ用意されています。見送り・集骨室と待合室の間仕切りを取ると、簡易な葬儀場、家族葬として利用することも出来るという特徴を持っています。新しいニーズにも対応していける形がとられています。総事業費は16億6800万程度となっています。

安芸高田市を説明します。斎場の基本計画を平成18年度に策定されています。計画策定以降、現在まで様々論議を重ねられているようですが、今年度2月に工事を完成される

予定となっていて、平成 25 年 4 月から供用開始を目指して準備を進められているということです。再編という考え方で申し上げておきますと、今、安芸高田市には 4 つの斎場があります。こちらを新しい斎場の建設に合わせて閉鎖されて、1 施設での運営を予定されています。将来的には 1 施設になるという状況です。

民間との兼ね合いを申しますと、市内に民間の葬祭業者が 2 社あるということで、いずれも式場を所有しているということです。こういった状況を考慮して、悩まれたようですが、業者との協議を行われて公営の式場を整備することを決定されたということです。

火葬炉数は 3 基となっています。その他炉がありますが、汚物炉となっています。併せて動物炉を 1 基用意されています。

見送り室が 3 室、待合室が 2 室、併せて公営の式場を 1 室用意されています。総事業費は 15 億 1400 万円程度を予定されているという状況です。

こうした近隣の状況を踏まえまして、庄原市の斎場のあり方を考えていただく上で、参考となるかと思ひまして、紹介させていただきました。

質疑

野原委員長 安芸高田市は建設中ということで、来年 2 月に工事が完成ですが、三次は既に完成して供用していて、視察可能ということです。

事務局から近隣の新しい施設、第 1 回のときに説明いただいた庄原市の再編計画の案と付き合わせてご意見をいただければと思います。

百聞は一見にしかずで実際に三次の新しい式場がどうなっているのか、皆さんの目で直に見ていただいて庄原の新斎場の参考にしていただければよろしいかと思います。

喫緊の新しい施設ということで、煙もでなければ、匂いも出ないという施設のようなので、見た方が良いという意見がありますがいかがでしょうか？

委員 いろいろ考えられて便利の良い所へという考えもあったようですが、大田幸町が立地が悪いとは言いませんが、今の時代にまた山に行ったかと思ひがないことはないです。そういうことになるんじゃないかという心配があります。

野原委員長 大田幸町に行くまでに、他の場所で予定地があったのですが、そこは交通の便も良くてそこが良いのではないかということでやったのですが、反対の声がありまして、断念した経緯があります。用地については、ご指摘のとおりでして、皆さん方のご意見やご意向を踏まえなくてはならないだろうということです。新しい施設はどういうものかを見た方が良いというご意見があります。

委員 施設を見学することは賛成です。気にかかりましたのが、三次市にしても安芸高田市にしても将来的には市内 1 箇所ということを計画されているようですが、広大な面積の中で 1 箇所ということになると施設の近くの方が良いけども周辺の方はずいぶん負担もかかると思うのですが、その辺について、三次市、安芸高田市から何か話しをされていましたか？

事務局 そうですね、特に君田、甲奴と三次市も広大な面積ですので、この 2 施設がなくなると不便を感じるという声もあろうかということで、そうした声を聞きながら、今後どうしていくかは検討する段階と聞いています。

事務局 利用される場合、両方あると思います。特に作木の方から、市内 1 箇所ということになると、そこに行くのにバス代が必要じゃないですか。そこらの負担についても考えてくれという意見もあったようですが、結果的には市内ですからそんなに違わないのではないかと思います。そういう意見があったということは聞いています。

委員 先ほどから新設に関することは皆さんも異議はなからうと思うのですが、再編の場合、今あるものをどこまで使っていくか、立地場所は市街地が良いのか、綱引きじゃないですが、こっちが良い、あっちが良いということが出てくるのではないかと思います。おそらく東城は別として、比和の斎場は耐用年数はまだありますが、実際、設備として良いかと言われれば別問題ですので、そこらを踏まえた中での検討が必要になると思います。

委員 これから先は、家での葬式がなくなることを見越して事業者に頼むことが多くなって、こういう想定をされていると思います。家での葬式がなくなると市内の便利な葬祭場でされて火葬場に行くということが、現在でも多くなってきていますので、そういうことを考えられていると思います。ただ、これは難しい問題で、地方の崩壊というか、地域の絆という問題も絡んできますので、どちらが良いかということとはわかりませんが、段々、葬斎場でされていかれるのであれば、2箇所でも構わないという気がします。地域の絆を重んじれば、再編も3箇所、それと作る場所ですね、交通の便利の良い所へ建てようとするれば必ず反対が起きると思いますので、その辺の問題がかなり難しい問題があるのではないかと。再編するにしても場所ですよね、山の奥へするよりは近場だった方が再編もみやすいと思います。

野原委員長 ありがとうございます。遠慮なくご意見出していただければと思います。

ある意味で地域の慣習というものとぶつかる面があるかと思いますが、そういったことも踏まえてご意見をいただければと思います。

委員 先ほど言われましたが、地域の絆という問題をちょっと別な所に置いておいて、今までやってきた状況の葬式というものがどういう風にかわっていくのかということが把握できないわけです。非常に複雑多岐になっていると思うんです。先般もありましたが、家族葬でやるんだということで、香典もいただかなければお手伝いもいただかん、自分たちだけでやるんだと、お寺さんに聞いたら香典とか柩運びとかそうしたものはみんなで行ってもらわないといけないので、仕上げの膳はやらない位の所で家族葬はしたら良いのではないかとといったことも言われていましたが、地域でものすごく変化していったるわけです。従いまして、アンケートをとっていただきたいということをお願いしたいと思います。

野原委員長 新しい意見でアンケートをとった方が良いのではないかと、そういう形で市民の声を聞くと、地域によって見方が異なるのであるから、アンケートをとった方が良いのではとの意見です。他に何かありませんか？

今の所、2つ出ていまして、一つは新しい三次の施設を見てみようということ、もう一つはアンケートをとって見た方が良いのではという意見です。

委員 アンケートは、自治振興区の会長あたりで良いと思います。

野原委員長 今言われましたように、自治振興区の方々に出れば良いのではという意見です。そうなればかなり数は減ります。集計も楽ですので、簡単に結果は出ると思います。

委員 自治会単位を対象にしてみてもどうですか？自治振興区では大きすぎるような気がします。

委員 アンケートは多様なニーズがありますから、必要だろうと思います。ですが、ストレートにアンケートに着手すると集約出来ない課題も出てくるように思います。今、おっしゃるように自治会単位という中でも現状や課題、他市の状況、人口の動態、財政のことそういった一定の啓発をして理解を得た上でアンケートをやらないと、今、ストレートにやると自治会単位でやっても難しいと思います。そのためには、広報等を活用して再編委員会

もスタートしてこうしたことをやっているんだと現状や課題を捉えて協議をしているんだということをしっかりと啓発しておかないといけない。いずれアンケートはとって集約していかないといけないことだと思いますので。

委員 アンケートの内容が、啓発しながら、ある程度の結論に持っていけるようなアンケートのとり方が一番ベターじゃないですかね。

委員 自治振興区の代表として参加していますので、出た内容は持って帰って説明はしています。だから、アンケートをとったらどうかという意見を言ったわけです。広報については、我々にとっても必要なことです。地域差はありますので。

野原委員長 アンケートをとる場合にも、自治会の所まででとった方が良いのではという意見と、アンケートの啓発を重ねながら、理解を得ながら進めていった方が良いのではないかという意見です。他にいかがでしょうか？

委員 アンケートという意見、良いとは思いますが、アンケートをとるにして、ある程度たたき台がないといけないのではないかと思うんです。三次の資料を見させていただくと3施設を将来1施設にというようなこともありますので、庄原も検討課題ではありますが、資料3のパターン3だと3ヶ所の例もありますので、庄原の位置が中心部か現地かは今から議論していくこととは思いますが、パターン3位のたたき台は作らないといけないのではと思います。

野原委員長 パターン3というのが、資料3にあるわけですが、事例を示しながらアンケートをとった方がわかりやすいのではないだろうか、一つの方向性ですね、再編という方向性を持ってやっていると、その場合は、庄原と東城、高野ということで、高野町の場合は、冬場は雪深いということもありますので、考慮した方が良いのではということですが、いかがでしょうか？アンケートを取るには異論がないが、その取り方ということで、かなり具体的な所まで話を詰めてきていますが。

委員 内容については、委員長に一任します。

委員 パターンは1から4まであるんですかね？どれにするかについては、委員会で論議をしないと決められない問題だと思いますので、提案はあったんですが、アンケートの段階でこれらを出すのは、まだ時期が早いかなと思います。

野原委員長 具体的にアンケートをとる場合に具体例として示すのは時期早尚であるともう少しこの委員会で議論しても良いのではないかとのご指摘です。

委員 私は逆だと思います。先にこうしたことを考えている、こうした例がありますよということ啓蒙しながら、1の場合はどうですかという問い方、2の場合はどうですかという問い方をすると多様な意見が出ると思うんです。初めから結論ありきでこの委員会で想定をしているんだと言ったら、アンケートの必要がなくなると思うんですね。1の場合だったらどうか、2の場合だったらどうか、問題点の良い所も悪い所も出してその時には経費もコストもかかるよとアンケートそのものが啓蒙になっていると最終的に設問に答えやすいと思うんです。その後で皆さんから出た意見を集約して、この委員会でこの方向が一番良いのではないかという出し方をした方がアンケートをする効果とすれば折角するんですから、少なくとも自治会長当たりにはその辺の理解をしてもらうということも含めてアンケートの取り方をしたらどうでしょうか？それで、結論的にはこっちの方向に行くのではないかという誘導の仕方はあっても良いと思うんです。利点と問題点があるよということを出しながら、それを問うたらどうかなと思います。

野原委員長 いくつか複数パターンがありますので、それを示しながら、一つ一つのパターンについて自治会の意見を伺うと、パターンについて意見があれば、そこに述べてもらうという形で良いのではないかとということです。最期にそれを集約して、自治会ではこうした意見が多いということで、集約していくということです。いずれにしてもアンケートは実施するということです。他に意見ありませんか？

委員 今までの話の中で一つ思ったのは、西城では広報活動を行っておられると言われましたが中々、市民の方に広報するというのは、難しいので、広報等でこの検討委員会が立ち上がっているという啓発はまず一番に必要なかなと広報って結構見ておられるんですね。で、広報の中にこうしたものがあって、投げかけられたら、受け止めやすいのではないかと思います。アンケートをとると私が言ったように各地域に置いてほしいと意見もありますので、将来的な再編という意味を込めて啓発等もしていただいた上でアンケートをすれば、皆さんの意見が聞けるのではないかという思いをしています。

委員 アンケートをとるということには賛成します。いくつかのパターンがあるということ、利便性などを啓発というか周知してパターンを示しながら皆さんにアンケートを書いていただくということ、やはり、広報において啓発いただいて、皆さんに斎場の検討委員会が立ち上がっていること、本当にいろいろと意見が地域によってあると思うんですよ。私たちの地域でも家族葬というのがちょこちょこ見られています。香典もいらない、自分方だけでやるというのものもあるようになりました。地域の自治会長さんに意見を聞くということも良いことだと思っています。

野原委員長 ところで、次の広報はいつなんですかね？

事務局 次が12月号ですので、3回目までの委員会のことは広報できると思います。現在までこの委員会の公表の仕方なんですけど、ホームページでは第1回、第2回まではどういった内容でというのは資料を含めて公表していますので、後は紙ベースでの広報ということが次の段階だと思います。

野原委員長 出来れば、紙ベースで写真入で出していただけると市民の目に留まるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

委員 ちょっと基本に戻って、最初にいただいた資料の14ページと15ページを見ているのですが、建設費に対して、他の例では15億、16億となっていますが、庄原の場合、1施設の場合14億とか6億5千という数字が載っています。そこら辺りも考慮しながら今後の検討に入っていくんだろうと思います。基本的な方針、パターンということも整理しながらアンケートにかけるのであれば、事業費もあげていかないと単純なことにはならないと思います。

野原委員長 それでは、他に何かありますか？

委員 これは、斎場問題の検討委員会がアンケートを皆さんにお願いすることになるんですね？資料は役所に作ってもらった資料で検討をお願いすることになりますよね？わかりました。

委員 皆さんがおっしゃいましたように住民の皆さんにしっかりと知っていただくということが一番で、こういうことを取り組んでいるんだということ、そしてアンケートをとっていくということが大事なんではないかと思います。3回集まってある程度のことがわかりましたけども、一般の方々はまだそんなことを思ってもいないし、おわかりでないと思いますので、それが一番基本ではないかと思います。

野原委員長 皆さん、よろしいですか？

それでは、皆様のご意見を伺いまして、アンケートをとるということ、それで問題は市民の皆さんにもきちんと周知してもらおうということが大切であるという意見が出ていましたので、ホームページでお知らせすることはもちろんであります、何といたっても紙ベース、広報でお知らせするというのも大事なことです、一番近いのが12月号ということですので、第3回まで乗せられると事務局からの話ですので、その点はぜひ事務局から手続きをとって、広報でお知らせして市民の皆さんにこういった整備検討委員会で議論をしているんだということをお知らせして、今、どういうことが議論されているのかということも簡単に説明できるような記事を載せていきたいと考えています。アンケートでは自治会長になるだろうと思うのですが、アンケートを出すということです。その場合には、パターンが4の所まで出ていますので、それぞれのパターンの所のご意見を求めるという形で、皆さんの関心の強いものを集約していくという形で整理していきたいと考えています。これは全ての市民への調査ではありませんので、簡単に集約できていくだろうと思いますのでそんなに難しい問題はなかろうかと思えます。結果をこの委員会で披露しまして議論いただこうかと思えます。

他に何かご意見ありませんか？

委 員 先ほどの15ページの表ですよね、庄原市斎場建設経費という箇所がありますが、式場なしでパターン1、パターン2、パターン3を見ていますと経費が炉数によってあれだけの差が出てくるのですか？金額の差は何でしょうか？パターン3の場合は、現地立て替えということで用地費がないために下がるのでしょうか、1と2の違い、14億と9億の差というのは何でしょうか？

事 務 局 パターン1とパターン2の差はどういうことかというお問い合わせですが、主には火葬炉ですね、パターン2では3基を想定しています。パターン1では5基を想定しているのですが、ここにかかる経費が大きく違っておまして、1炉当たり4500万円かかるということで2基分の差が出てくるということです。それから大きな所で申し上げますと、駐車場ですとか道路整備に係る面積規模が違いますので、そこにかかる経費が大きくなってくると、主にこの2点です。細かい所では積み上げはあるんですが、先ほどあがってました用地の部分です。そういったものが大きな要因となっています。

野原委員長 他にいかがでしょうか？今、15ページの表9に関する質問がありました。他にここを確認しておきたいということはありませんか？

事 務 局 このアンケート一番気にしているのが、仮にパターン1からパターン4まで入れた場合のものでアンケートをとると最終的に何番が多かったということになるとそれで結論づいちゃうんですね。それを結論づけしてしまうのか、若しくはそうだったけれどもこうだったという意見にさせていただくのか、そこの所のまとめ方があるので、アンケートの場合は、答える方の意識なり現状に対する認識、希望などをとるところに留めるのか、4つのうちどれが良いですかという所まで行くのか、そこは微妙な気がしています。もし4パターンを示して何番かが多かったら、それを覆すことにはなりづらいと思うので、委員会では、そこら辺がアンケートの難しさかと思えます。

委 員 パターンの選択をしてもらう必要はないと思います。

野原委員長 いろいろなパターンがあって、それについて意見を言っていただいて、特に希望を言っていただければそれで結構だと、議論するのはこちらでそれを基にして検討委員会で議論

すると、議論する材料にするとそういうことですね。

委員 アンケートの結果を全てうのみにしてということではないです。

野原委員長 あくまでアンケートは検討委員会での議論の手がかりにするとということでやっていくということで、アンケートは決してそれで決定するものではありませんという理解でよろしいでしょうか？そういうことで、アンケートは検討委員会の資料としてやらせていただきます。他にご意見ありませんか？

委員 用地のことが一番引かかるんですよ。みんながええ言うのなら、ここに決めれば良いのではないかとということになっても、三次市の方向に行くのではないかと感じるがして居るんです。用地は人のものですから、ここが良いと言ってもこらえてほしいと言われたら。

委員 用地の心配はいりませんよ。大丈夫ですよ。

野原委員長 従来の斎場というイメージ、いわゆる迷惑施設ということはないだろうということです。なかなかそういう理解が十分に市民の間に行き届くかどうか難しい所ですが、これは我々も議論を重ねながら、そうした点を含めて心配のないように進めていきたいと思っております。

他に意見はありませんか？

委員 非常につまらない考え方でしょうが、備北広域都市圏というようなことを頭においた時に三次市の周辺にある山内とかそういった地域がありますよね。そういった地域は三次へ行ってもらって、極端な考えですよ、それで地図の引き方を考えたら、高野のことも処理ができるのではないかと思ったりします。飛躍しすぎた考えかもしれませんが、ちょっとそういうことが頭をよぎったものですから。

野原委員長 斎場は別に区切っているわけではありませんから、どこそこの斎場を使おうが自由ですので、そういうことで行政区の区域が揺さぶられるという可能性はあると思いますけども、しかしそれは市民が選ぶことですので止めようがないわけですが、庄原の場合は、緊急の課題も出ているわけですので、そういった点も含めて議論を重ねていきたいと思っております。他にいかがでしょうか？

それでは、ただいま2つの点、三次の新しい斎場を見学するという点、これは事務局の方でまた取り計らいよろしくお願ひしたいと思います。日程、時間、決めていただきたいと思ひます。それから、アンケートについては、広報媒体も使いながらでき得るものならばそういう形で市民の声も反映していくと、あくまでこの検討委員会の議論の材料として自治会単位でアンケートをとっていくということです。アンケートの案については、検討委員会に諮りますので、その際には議論をよろしくお願ひします。

(2)については、以上で議論を終えたいと思ひます。

(3)その他

野原委員長 (3)その他に移りたいと思ひます。事務局で何かありますか？

事務局 事務局から案内します。一木町の斎場の関係ですが、現在、2基あります。老朽化してしまひて修繕の必要が生じています。台車が引き出しにくい状況となっていますので、緊急に修繕したいと考えています。2基のうち片方ずつ修繕を行っていきたくと、ただ件数によっては、要望の時間なり難しい面もありまして、近隣の斎場の使用をお願ひすることもあろうかと思ひます。その時にはご協力をお願ひしたいということでホームページなり広報で全市の皆さんにお知らせしたいと思ひます。修繕の期間の予定ですが、11月19日

から12月21日までを予定しています。時間がかかるようですが、協力をお願いしたいということでお知らせしたいと思います。

野原委員長 皆さんからご意見ありませんか？緊急の改修をしなければならないということで来月から実施するというので、他の斎場も利用する場合もあるということで事務局から話がありました。その他何かありますか？

4 次回開催日について

野原委員長 4の次回開催日ですが、事務局から何かありますか？

事務局 第4回となりますが、三次市の斎場を視察したいと考えています。今の予定ですが、出来れば11月12日の週で考えたいと思っています。またご案内しますので、その節はよろしくお願いします。

野原委員長 ただいまのことでご意見、確認ありませんか？

11月12日の週で、見学ということです。

他にご意見がないようでしたら、これにて検討委員会を閉会としたいと思います。本日は大変ご苦労さまでした。

以上、議事の経過ならびにその結果を明確にするため、本議事録を作成し、議事録署名人が次に署名捺印する。

平成24年10月30日

議事録署名人 野原 健一

議事録署名人 住田 鉄也